

■出席者

□欠席者

▲途中退席者

△遅刻者

		総務部		環境部		レク部	
出席者 ■	鷹尾 会長	■佐藤(昇)	■峯下	△國松	■花澤	■菅	△北濃
	大畠 副会長	副部長	副部長	部長	副部長	部長	副部長
	宗政 書記						
	菊池 会計						
△ 渡邊 監査役		企画部	■三枝委員(企画防犯防災)	*ゲスト(ボラティア) ■佐々木(企画バ'ソト)	グループ他	(オバザーバー)	
13名	+1名	班長会は、	1月	15日	18:30~	於：	第一自治会館

配布資料：

1. 運営委員会

- おやっ広報1月号、会員数推移表、各班会員非会員、収支現状、ゴミステーション点検整備一覧
- いけいけ収支現状・資源回収助成金推移 運営役員一覧(2015~)、2025体制検討(参考)

① 運営委員会 開始18:30-21:30

*立替精算：会長、大畠副会長

【以下、運営委員会 連絡、協議、相談、意見交換】

① 連絡・協議事項（配布資料に従い会長より説明、意見交換）

- 1) おやっ！広報：デジタル化推移予告アナウンス、バス通り環境整備予告、公園定期清掃活動予告ほか
- 「ICT（デジタル化）」デジタル委員会立ち上げ、会長以下数名でデジタルツール(公式LINEアカウント)検討中
 - 「バス通りフーラーワーライン」構想→市のアダプトプログラム（土木管理課）申請予定、燃料、お茶レベルの助成あり
 - 「公園定期清掃（対象：なかよし、みはらし公園）：申請予定 15円/m²の市からの助成あり（シニアクロ事例紹介）なかよし公園(1000m²)、みはらし公園(2500m²)規模になります

以上、皆さん誰でも参加の方向で今後の計画構想の「予告」の形でアナウンスと致します

- 2) 会員数推移(H14~)：新入居者への自治会案内中、1/10入会者加え 会員数=347 (1/11入会加え 348)

・新たな自治会の姿模索中 → (デジタル化による自治会運営改革)（自治会そのものの内容改革も）

- 3) 現状収支状況：予算残見越して有効活用提案を検討お願いします 例：年末の独居高齢者ご不幸の事例参考に

- 市（自治体）としての独居高齢者緊急時対応について → 篠崎委員情報深堀お願い
- 袖ヶ浦市：所得170万円までは無料、170-280万円までは有料ながら緊急対応ツールある模様
- 独居高齢者に提供できる緊急時ツールなど提案求めます（現状SOSカード、医療情報キット）
- 防災、会議費、環境美化それぞれ予算枠少し余裕ありますので、有効支出提案お願いします

- 4) ゴミステーション点検整備：昨年秋口よりお願いしている環境部での点検調査情報提供お願いします

- 5) いけプロ（いけいけ/箱型）中締め（2023/12以降の収支報告関連

- 6) 資源回収助成金推移：H21年度以降の助成金（回収量）推移 令和に入って「火曜日君スタート」も回収量50-70t弱

・ここ数年少しづつ減少傾向 年間助成金は25万円（60数ト、4円/kg）規模で推移

- 7) 自治会運営役員（2015~）参考資料

② LINE「投票」機能による安否確認：

- 先月班長会ほか一部のグループでお試しの形で実施要領紹介 → 現状のグループLINE「見守りたい」（現在100人登録）に範囲を拡大し、事前に概要アナウンスした上で、お試し安否確認を実施することに異論無し。→ 1/11アナウンス済み
- 並行して「見守りたい」グループLINE参加登録者を増やす（現状100→全会員、将来的には全世帯も視野に）→ ③項

③ グループLINE「見守りたい(隊)」参加登録者増やす策：（意見交換）

(現状の参加登録者100名→将来的に全会員対象の安否確認、デジタル回覧/情報提供するため住民全世帯登録をイメージ)

- 1) 会員に限定した参加登録拡散に限定するか？ → ②の安否確認の基本となるグループLINEでもあるので、まず会員から

→ 現状会員回覧の「お知らせ」にQRコード公開しての参加呼びかけ継続

- 2) 将来的には、会員非会員の制限外すか？ → 将来的には、おやっ！広報にもQRコード公開し、むしろ特集組んで全世帯への公開と、それによる入会促進にもつなげること期待する

- 3) 登録者個人の特定（アカウントで特定できない場合） → 参加登録時の実施要領として、幾つか提案あり

(安否確認も考え、登録者特定必要) 例) 会長LINEのQRコードを公開し、まず、会長への参加登録意思連絡する

例) 本名以外のアカウントの場合、会長（管理者）個人LINE間で本人本名確認する

- 4) QRコードを見るなどして参加登録してきた非会員には、入会を勧める

④ 2026年度運営役員（部長以上）の体制協議： 現時点で、自治会長立候補者届け出は無し

会長より、自治会運営に関し、持続継続性に配慮する一方、時代に合った自治会運営（例：デジタル化、異なる誰でも参加型の環境整備などの目標）課題の達成、それと併行して、世代交代の必然性など思いを紹介。

その上で、ご家庭、仕事環境、この一年の振り返り、それぞれの考え方を忌憚なく聞かせていただく時間としました。

(2026年度体制の基本) 会長から部長まで、以下を除き、とりあえず2026年度も継続すること織り込んだ体制とする

企画部：一旦役外としての協力参加 監査役：意思保留（連合との関りから） 副部長：新班長から選出(従来通り)

→ 皆さんの意見尊重した上で、最終的な2026年度体制を固めるものといたします。

→ 皆さん各位のお考え、状況、感想、ご意見は、会議の場で充分お伺いでしたにとどめます